

私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

放流ポンプ・ウォーターハンマーで配管離脱事故、対策は！！

ディスポーザー排水処理槽から下水道への放流ポンプは、B2F,B3Fからの放流揚程の高い箇所も存在致します。その揚程の高い放流ポンプは、長期間に亘る運転停止時のウォーターハンマー振動で、塩ビ配管接合部の離脱事故が見られます。今回は、ウォーターハンマー緩衝装置を検証しました。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書（平成31年度版）機械設備工事編より

国の購入仕様書である「国土交通省 公共建築工事標準仕様書（平成31年度版）機械設備工事編」では、「揚水ポンプ、消火栓ポンプ、冷却水ポンプ、及び冷温水ポンプの**逆止弁**は、次による」と規定されています。

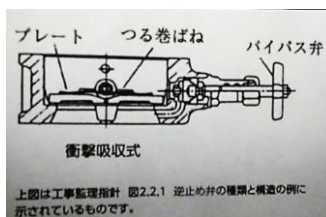
- イ) 全揚程が30mを超える場合は、衝撃吸収式とする。
- ロ) 弁の呼び径65A以上の場合は、バイパス弁内蔵とする。
- ハ) 弁の耐圧、及び漏れ試験は、JISで規定する検査基準による。

標準仕様書を具体的に補完する同「機械設備工事監理指針（平成22年度版）」では、衝撃吸収式とは、ポンプが停止して水圧が下がると、ばねの力で急速閉止してウォーターハンマーの衝撃を吸収するもので、垂直に取り付ける。デュアルプレート型は、ウェーハ形で小型軽量である。として、「ウイング チェックバルブ」の構造が図示されています。

当該チェックバルブは、東洋バルブをはじめ多くのバルブメーカーで製造されています。下記の耐久性試験は、東洋バルブの資料を掲載させて頂きました。



ハンマーチャッキ弁も推奨品です



水物語 No92 野麦峠は、製糸業を支えた街道最大の難所でした！



1970年代、私は田舎の青年団活動で劇団「ミデラ」の旗揚げに加わり、菊池寛「父帰る」リハーサルの真っ最中でした。そんな時、演劇・「野麦峠」を見ることになりました。「野麦峠」と出会い、演劇の魅力に取りつかれたのを覚えています。

野麦峠は、飛騨の村々の少女たちが出稼ぎで、岡谷、諏訪の製糸工場への向かうため越えなければならなかった街道でした。そこは、故郷へ帰る年の暮れには、雪の降り積もる「悲しい物語を秘めた難所」でした。

そんな野麦峠は能登でとれたプリを、飛騨を経由して信州へ運ぶ大切なルートでもありました。能登でプリ1尾、コメ1斗が、野麦峠を超えると、コメ1俵になったと言われています。「雪が振ってくりゃ、野麦峠には銭が降る……」。

油脂ゼロ・流入ポンプ槽推進中！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京